



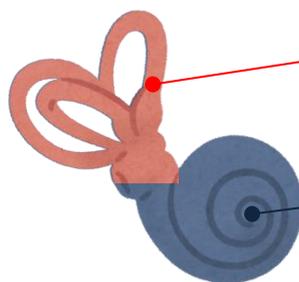
# 耳鼻いんこう科診察室より 耳よいな話



「メニエル病」という名前はとても有名で「メニエルを過去に患った」といわれる患者さんは多くいらっしゃいますが、実際はやや珍しい病気です。メニエル病の診断はすごく簡単にいうと…

「**回転性のめまい発作**」+「**耳の症状(難聴・耳鳴・詰まった感じ)**」です。これが時を同じくして同時に生じて、かつ反復することです。簡単ですね？(例外はもちろんあります)

メニエル病患者さんであれば、どちらの耳が悪いか一番よくわかっているでしょうから、ついつい前回(上)のようなイジワルな質問をしてしまいます。



● **内耳の上半分はバランス器官“三半規管”**  
→めまいに関係

● **内耳の下半分は音の器官“蝸牛”**  
→難聴・耳鳴に関係

**上も下も異常があるとめまい+難聴・耳鳴**

メニエル病の正体は内リンパ水腫(内耳のおくみ)といわれております。なぜ水腫(むくむ)のか…? メカニズムはわかっておりませんが、ストレスや天候に左右されることが多いです。

なぜか真面目で几帳面な方が多く、ご自分の症状を克明に記したメモを持参されたいします。診察する側としてはとてもありがたいのですが…“もう少しいい加減でも良いのになあ”…とさせていただきます。

メニエル病と似た病気で「急性低音障害型感音難聴」というものがあり、症状はやはり「めまい」+「耳の症状」で、内リンパ水腫が原因です。長い名前なため、ALHLと略したいします。以前は突発性難聴という病気の一部に数えられていたこともあります。

メニエル病も同じなのですが、女性に多いです。ALHLからメニエル病に変わっていくこともあり、きっと同じような病気なのですね。診断も治療もだいたい同じです。

メニエルよりもむしろこちらのほうが多くいらっしゃいます。ALHLは治りやすい病気ですが、再発もしやすいです。